

此日を以て順調に終了したるが、警察側は廿六日「近頃種々なる名目の下に寄附金の募集をなすものあり、其爲め迷惑さる、方は遠慮なく申告さるべし」との掲示を爲し、募集を制止せり。廿七日に到り理事島貫萬次郎、通洞支部長山本徳太郎は足尾署に召喚せられ、會員以外より強請的に寄附金を募集したりとの名目にて、島貫は科料金五圓、山本は同三圓に處せられ、本山亦警察より同様の取調を受けたるも召喚さるゝに至らざりき、是がため聯合會は會員外よりの寄附金募集を、當分中止することに決定したり。此日より「會社は此際労働者を誅首して禍根を絶つべし」との噂宣傳せられ、關尾小瀧支部長高梨理事は本山に出張して連絡を取り、一方坂口本部員の來山を豫定して廿八日より三日間、三山に亘つて大講演會を開き、結束に努むべく決定したり。二十八日、高梨、可兒兩名、足尾署に出頭し、署長と會見し、「在郷軍人會の寄附は會員外よりも自由に募集することを得るのみならず、一昨年の罷業に就て、鑛山労働同盟會が一般に寄附を募集することを許可したり、然るに今回に限りて寄附金募集を許さざるは干涉に互らざるか」と詰る等、今や聯合會員は口を極めて警察の不當干涉を叫ぶに至り、二十九日には山本、島貫兩名は、前記の科料處分を不當として正式裁判を仰ぐに至れり。卅日午後七時廿分麻生久氏、通洞驛著列車にて足尾に到る。今回の事件に於ける最初の足尾入りなり。労働者は、労働歌、革命歌を高唱して之を迎ふ。其數約一千名なり。麻生氏は通洞驛構内石階上より一場の演説を試み、次で示威行列の形式を以て、先づ通洞支部に到り、更に本山城崎座に臨み演

説會を開けり。三十一日通洞足尾館、一日本山及小瀧に於て演説會開催、三十一日石塚坑夫組合本部員來足せり。三十一日早朝配付したる坑夫側宣傳ビラ左の如し。

積り積つた復讐をすべき秋は來た。權力何ぞ!! 金力何ぞ!! 我等には偉大な正義の力さ大なる自然の援助とがある。我等に思ふ存分の運動準備をなさしめくれた此の十五日間も、彼等の爲めには大なる痛手と云はればならぬ。無人道な資本主義の欲望が我等の手

に依つて打ち破られるかと思えば實に痛快も限りないのである。
親愛なる同胞労働者諸君よ! 金山の準備は既に出來た。奮ひ起つのは是れからだ。本日午後六時を期し足尾館に於て大講演會を開催す。熱烈なそして勇猛な諸君よ來り會せよ、然して目的に近づけよ。(原文のまゝ)

三月三十一日

足尾聯合會

麻生氏が足尾に著すると共に取りたる策戦は「敵へ打衝かるのは急ぐに及ばぬ、先づ味方の結束を堅めよ、急ぐな焦るな」と云ふ方針を基調とせるが如し。即ち三月三十一日新聞紙上、古河鑛業會社當局者の談として、古河足尾鑛業所は、評議員會の提出以外、團體の名に於てさるゝ要求を受付くるの意なきことを發表さるゝや、直に之れを逆用すべく當日午後二時鑛業所に要求を提出すべき策戦を一變し、條件提出者として全日本鑛夫總聯合會全國坑夫組合の名を避けて、労働條件改善運動本部の名に改め、提出期をも四月二日に變更したり。

▽會社の要求拒絶